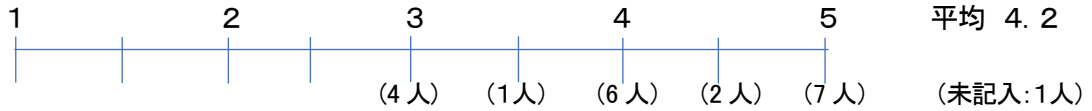
# 令和６年度　事業所協議会研修会開催概要

１　日時　　令和７年２月１２日（水）１０：００～１５：２０
２　場所　　熊本県総合福祉センター３Ｆ　第３会議室
３　内容
（１）開会
（２）座談会：議題「グループホーム　それぞれの現在地」
　　進　行　ＷＡＫＡＢＡ　　統括施設長　谷口　建太　様
　　提言者　まんさく園　　施設長　　永野　圭祐　様
　　こまちの森　　施設長　　津留　郁美　様
　　ふれあいワーク　統括施設長　里﨑　俊哉　様
（３）行政説明：内容「障がい者、児童の虐待事案から見えてくるもの」
　　講師　熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局
　　障がい者支援課　　課長　高三潴　晋　様
（４）活動報告
　報告１　　ワークサポートＭｉｎｔ（熊本市）　　管理者　前田　修　様
　報告２　　水俣福祉作業所（水俣市）　　施設長　竹下　浩史　様
(5)閉会

＜参加者＞２７人
【内訳】講師（１人）、事業所等（２３人）、県育成会事務局（３人）

＜アンケート結果＞　提出人数（２１人）
１　開催時期
①　今の時期でよい。（２０人）　　②　（　３　）月ごろ（１人）
２　会場
①　今の会場でよい。（２０人）　　②　他に適当な会場（ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾙなど郊外：１人）
３　研修内容
（ ← ニーズにあっていない　　ニーズにあっている → ）




４　研修を受けての感想・意見（抜粋）
（１）座談会：議題「グループホーム　それぞれの現在地」
・３事業所のそれぞれの現状と課題を聞くこと出来た。黒字か、赤字かも運営次第でどうにでもなる話が聞けて良かった。
・同事業所の利用者の方が入居されているため、違う利用をされているＧＨの話も聞ければよかった。
・各事業所で苦労しながら運営されているのがよく理解できた。課題を一つ一つクリアにしていかないと、事業の継続・拡大は難しいかなと感じた。
・それぞれの事業所が抱える課題など聞けて良かった。少し、グループ討議する時間もあれば、皆、意見をより出せるかなとも思いました。
・ＧＨは、いつかは・・・と思いながら何年も経っています。今回、運営、経営と踏み込んでお聞きすることができて、大変参考になりました。
・他の事業所のＧＨの現状を知ることができ、良かった。課題も多いが、今日の話を参考に１つ１つ丁寧に取り組んでいきたいと思った。
・メリット・デメリットがよくわかった。各ＧＨのことが詳しく説明されて、とてもありがたかった。
・ＧＨの利用者さんの高齢化が考えられるので、より手厚な支援が必要であると思う。「親ある内

に」ということが、より大切であると思った。

（２）行政説明：「障がい者、児童の虐待事案から見えてくるもの」
・虐待防止の講習は、何度も何度も受けており、あ～またかと思っていましたが、管理者、代表者の立場や行政の見方など、色々な視点からの「思い」が伝わる、心に残る説明でした。
・今年もとても身になる話をありがとうございます。特に最後の事例の話は、とても考えさせられるものがありました。本人に対して何が良いかを考えるのは難しいと感じました。
・事例がとても難しく判断するのは高度すぎた。もう少し身近な障害者虐待についての情報が欲しかった。
・なかなか考えさせられる内容でした。こういった形の研修も施設でも取り組むと、考えるよい機会になると思いました。
・虐待の原因は、組織にあるという言葉が印象的でした。より、風通しのいい、職場環境づくり、組織体制づくりを行っていきたいと思います。
・虐待については、常に私自身の言動を反省しながらという思いです。職員同士も労いながら、ユーモアを持って、しんどさを雑談の中で笑顔に変えていかなければ・・・と思うます。ゆがんだ関係にならないように、日々、職員や利用者さんに敬意を伝えたいと考えます。
・何でも話せる風通しの良い施設作り（職員の関係性）が一番の予防であると思いました。多忙ではありますが、コミュニケーションの時間を増やしていきたいです。
・難しい問題、答えが無い問題なので、法人の中でも機会を作って、色々な事例について考えていきたいと思った。
・虐待の判断というものは、とても難しものであるため、多くの人での話し合い、防止策の検討などの大切さが分かった。「風通しの良い」をキーワードにやっていきたい。

（３）活動報告
・意見交換の時間が取れて、課題の共有や解決法などの情報交換ができればよかったと思いました。
・外部との繋がりがあってこそ、作業ができていることをあらためて理解して頑張っていきたいと思う。
・現在における課題が聞けて良かった。「利用者を増やすには？」「こんな作業どうだろう？」など、育成会メンバーとして、グループなどで、否定無しルールで考えてみても面白いのではないでしょうか？
・仕事作りの方法が知りたい
・それぞれの事業所さんの現在取り組まれていることが、よくわかりました。利用者さんの工賃アップのため、色々考える（作業内容について）のに参考になりました。
・内職の依頼数が、減少しているため、他の施設でも同じ悩みがあるのだなと実感しました。利用者の個人のレベルの違いにより、出来る作業が限られてくるので、新しい作業の開拓は悩ましいところです。
・ミントさんは、外での作業がありますが、夏の暑さが厳しいので、どのようにされているのかなぁと思いました。

（４）今後、研修したい研修について
・ＢＣＰへの対応など他事業所ではどうされているのか
・処遇改善について
・Ｂ型、Ａ型、生活介護に関する研修。
・入職３年目以内の職員を対象とした、グループディスカッション、座談会みたいな企画があると送り出したいと思います。障害分野は異業種からの転職も多いので、他施設職員とざっくばらんに話をして欲しい。（通常の研修では、なかなか難しい。）
・強度行動障害の方への支援
・相談支援事業所について
・意思決定支援について

・Ｂ型から一般就労への成功事例をお持ちの事業所があれば詳しくお話をお聞きしたい。
・他の事業所がどのような加算を付けいているのか気になります。
・虐待防止の研修の取り組み方について

（５）施設経営上の課題等について
・報酬改定でしなければいけない事が増えて手が回らない
・利用者の確保。新規作業の確保。
・報酬。職員（人員）の確保。
・人材育成～こんな取組やってます。
・賃金（人件費）と勤務体制
・本人の意思決定支援についての家族への周知と理解を得るためには・・・？
・利用者及び職員の高齢化

（６）その他
・活動報告で、事業所のＧＨだけをしてもらう人が居てもいいかなと思いました。
・年に１度ではなく、年に数回、開催して欲しい。

※西会長挨拶、水俣福祉作業所の活動報告の写真を撮り忘れてました。申し訳ありません。